

県政
報告

ひでゆき通信
INSIGHT

慧眼

Vol.9
Summer
2022

【けいがん】「物事の本質を鋭く見抜く力」「将来を見通す能力」



ごあいさつ

令和4年も半年以上が過ぎ、季節は夏本番となりました。世界は長引くコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻に端を発したエネルギー不足や資源高、さらには食糧問題など依然として混沌とした状況が続いています。日本と世界各国の金融政策の違いや地政学的な要因などから発生しているとされる円安も相まって、わが国においても諸物価の上昇が顕著で、今後電気やガスなどライフラインコストのさらなる上昇が危惧されます。グローバル社会における経済・金融政策は高度な戦略と判断が必要ですが、物価にしても為替にしても急激な変動は社会不安を招きます。企業の98%が中小零細といわれる日本の産業界において安定した経済環境は、各々の企業が中長期的なビジョンを描いていく上で不可欠です。バブル崩壊以降「失われた30年」といわれますが、日本経済が再び力強く飛躍できるよう、政府には間違いのない経済・金融政策、そして安定したエネルギー政策を行うことを要望します。

国政においてはこの夏、参議院通常選挙が行われました。選挙の結果については言及いたしません。その選挙戦のさなかにおいて「安倍晋三元首相、殺害」という憲政を揺るがす悲劇が起きました。世界一安全で、世界の民主主義の模範であるとされる日本でこのような事件が起こったこと自体が衝撃で、いまだ受け入れがたい現実には哀傷を禁じ得ません。失われたものがあまりにも大きく、国内外の情勢も含め今後の余波が気になりますが、背景を含めた事件の全容の解明と、二度とこのような事件を起こさせないための対策が求められています。

安倍元首相の御冥福を心よりお祈りいたします。

一方、静岡県政ではリニア中央新幹線工事静岡工区に係る水問題への対応と昨年7月に発生した熱海市伊豆山地区土石流災害に伴う盛土対策の強化が重要な課題として注目されています。県議会6月定例会において私は自民改革会議の代表質問の機会を与えられ、知事の考えや県の対策・取組を質しました。両課題とも現状では大きく動いている状況であり、今後の動向を注視するとともに、当局には県民の安全・安心を第一に万全の対策を講じるよう強く要望します。

これから夏本番を迎えます。新型コロナ感染防止とともに暑さ対策をしっかり行い、御自愛くださいますようお願い申し上げます。



静岡県議会議員

市川秀之

笑顔・元気あふれる街に！

県議会報告 6月定例会で代表質問に立ちました。 代表質問とは、議員が所属

1. 知事の政治姿勢について

リニア中央新幹線工事の水問題

Q 知事はJR東海が示した2つの方策を全否定したが、「全量戻し」についてどのように解決すべきと考えているのか伺う。

A JR東海から示された2つの方策は県外流出量と同量をその他の水で補填するという方法で、流域の健全な水循環を維持すべきとする水循環基本法の基本理念に反しており、有識者会議が報告でまとめた「トンネル湧水の全量戻し」には当たらない代替策であると受け止めている。田代ダムの取水抑制で県外流出量を補填する案については技術的な問題もあり、県の専門部会において、科学的根拠に基づいて対話を進めてもらう。



2. 熱海市伊豆山地区土石流災害を教訓とした対応について

(1) 盛土対策の強化

Q 二度と災害を発生させないため、規制強化や体制整備のほか、踏み込んだ実効性のある対策が必要と考えるが県の取組の具体的な内容を伺う。

A 「盛土等の規制に関する条例」による規制の実効性を高めるため、盛土対策課職員に加え出先機関に200人規模の兼務職員を配置するとともに、広く県民からの通報を受け付ける「盛り土110番」を設置する。市町、警察と連携し、盛土に関する総合的な対策を行う「(仮称)静岡県盛土等対策会議」を立ち上げ、許可情報や不適正な盛土事案などを一元的に地図上で共有できる「土地利用情報システム」を構築する。

(2) 行政対応に関する知事の認識

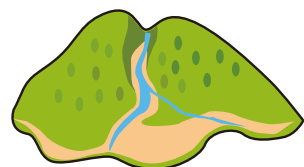
Q 森林法の適用など行政対応における課題についての知事の認識と、同様の災害を二度と発生させないための決意を伺う。

A 森林法の対応については、行政対応検証委員会の最終報告書で「是正措置など法的対応の可能性を追求することもあり得たと思われる。林地開発許可対象にできない案件だから森林法の埒外であるとする考え方は妥当でない。」という検証結果が示されたため、しっかり受けとめる。

砂防法による規制区域の指定については、同法に基づく砂防指定地にしなくてもよいとの判断によるもので行政裁量として認められる範囲内であったと考えているが、砂防堰堤の捕捉容量を超える盛土量が上流に存在することについて強い危機感を持つべきであった。

行政対応検証委員会の検証作業の問題について、委員は丁寧に検証しており、報告書は客観的な立場で公平な検証が行われたものと認識している。

県職員は県民の生命・財産等を守り抜くという観点から行政として何をすべきかを考え、「最悪の事態」の想定も視野に入れて行動できるよう個々人と組織の対応力の強化を図っていく。今後は、市・関係機関と密接に連携しながら、一日も早く通常の生活に戻れるように諸対策に全力で取り組んでいく。



3. デジタル田園都市国家構想の具現化に向けた取組について

Q テレワークの浸透や移住に対する関心が高まっている今こそ、国の「デジタル田園都市国家構想」に呼応した取組を進めるべきと思うが県の取組を伺う。

A デジタルの力を加え、世界に誇る豊かな自然環境と都市の利便性が融合したポスト東京時代のロールモデルとなる地域を創り上げるなど、デジタルガーデンシティ構想を通じた地方活性化に全力で取り組んでいく。



する会派を代表して質問するものをいい、これに対して、議員個人として質問するものを一般質問といいます。今回は、自民改革会議

4. 多文化共生施策の充実について

Q ウクライナからの避難者への緊急支援とともに、約10万人の外国人県民にとって満足度の高い社会の形成に向け、多文化共生施策の充実について伺う。

A 今後も避難者に常に寄り添い、継続して支援を行っていくとともに、本県に居住する外国人県民の誰もが、安心して快適に暮らし、活躍できる社会の構築に向け、多文化共生施策の一層の充実強化に努めていく。

5. 中小企業の脱炭素化支援について

Q 人材や知識、コストの問題から脱炭素化の具体的な取組には至っていない中小企業が多いのが現状であるが、今後どう取り組んでいくのか伺う。

A 静岡県産業振興財団に設置した「企業脱炭素化支援センター」において、「普及啓発・人材育成」、「計画づくり・診断支援」、「設備導入支援」の3つのプロジェクトを柱に、次世代自動車センター浜松などの関係機関とも連携してオール静岡の体制で取り組んでいく。

6. 脱炭素社会の実現に向けた取組と静岡県のエネルギー政策について

(1) 再生可能エネルギーの開発

Q 民間企業の取組など県内で脱炭素化の機運が高まっているが、県内の資源の開発とエネルギー利用を県が進めるべきと考えるが所見を伺う。

A 地域資源を活用した再生可能エネルギーの開発は、ますます重要なものとなっており、これまでの調査結果を再評価するとともに、本県の高い技術力や産業の集積、豊かな森林や水などの地域資源を最大限活用し、脱炭素技術の開発や社会実装を進めていく。

(2) 浜岡原子力発電所の再稼働

Q 脱炭素社会実現や世界的なエネルギー価格の高騰を背景に原子力利用を求める声があるが、浜岡原子力発電所の再稼働等について所見を伺う。

A 電力会社ごとに原子力発電への依存度が異なるため、再稼働の検討に当たっては発電所ごとに考慮すべきと考える。中部電力は原子力発電への依存度が低いこともあり、津波対策工事等を実施中であり、原子力規制委員会による新規制基準への適合性審査も継続中、使用済み燃料の貯蔵も困難なことから再稼働できる状況にないと考えている。

7. 観光産業の復活に向けた取組方針について

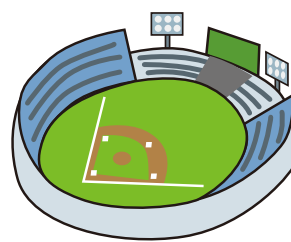
Q 外国人観光客の段階的再開等に対して、短期的な需要喚起策と中長期的な展望に立った観光施策が重要であると考えているが、どう取り組んでいくのか伺う。

A アドベンチャーツーリズムやウェルネスツーリズムなど外国人観光客の関心が高い旅行商品を開発し、インバウンド需要を取り込んでいくとともに、お茶や食文化、ジオパークなど本県ならではの観光資源を最大限活用し、「サステナブルツーリズム」のモデルツアーなどの開発を推進していく。

8. 遠州灘海浜公園（篠原地区）野球場の整備について

Q 人口減少社会への対応やSDGsへの配慮、地域の活性化への貢献などが求められるが、コンセプトと基本計画の策定に向けたスケジュールを伺う。

A 基本構想では、「スポーツ施設のバランスある配置による新たなスポーツ拠点づくり」を基本方針とし、



「県西部地域の広域的な利用に資する大規模スポーツ施設」を野球場のコンセプトとしている。県西部地域のスポーツの拠点として愛される公園と野球場の実現に向け、計画の策定を年度内に進める。

9. 津波災害警戒区域の指定について

Q 津波災害警戒区域の指定は、本県においても伊豆半島の6市町の指定にとどまっているが、県は今後どのように取り組むのか伺う。

A 現在15市町が未指定となっているが、市町の意向を尊重しながら津波災害警戒区域の指定等、地域の実情に応じた「静岡方式」による津波対策を進め、安全で安心して暮らすことができる津波に強い地域づくりを推進していく。



議の代表として質問しました。

10. 今後の教育行政の推進について

(1) 教育長の所信

Q 激変する時代において、「世界情勢」や「多文化共生」などの課題に県教育委員会としてどう向き合っていくのか、教育長の所信を伺う。

A 時代が大きく変革する中、子供たちの多様な能力や資質、可能性を伸ばすため、これからの公教育は変わっていく必要がある。特に学術的なテーマのみならず、学校や家庭だけではない、多様な生き方に触れることのできる豊かな学びの機会となる探求活動を推進し、激動の時代を生き抜く力、状況を変えていく力を育成していきたい。

(2) 教職員の不祥事の根絶

Q 本年度に入って県内公立学校の教員が5人逮捕される異常な事態であり、不祥事の根絶に向けた教育委員会の取組を伺う。



A 教育委員会として深刻に受け止め、深くお詫びを申し上げる。教職員の自覚と不祥事を起こさせない組織づくりが不可欠で、一人ひとりの教職員が初心に立ち返り、崇高な使命と職責を改めて心に刻み、各学校で「同僚性」を高め、風通しの良い職場づくりに取り組んでいく。

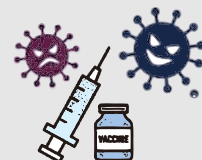


5月県議会 臨時会

議会で可決された主な議案

◆令和4年度一般会計補正予算 25億3,900万円

原油価格・物価高騰に対する国の緊急対策や新型コロナウイルス感染症対策に伴う経費について増額補正しました。



6月県議会 定例会

議会で可決された主な議案

◆令和4年度一般会計補正予算 98億5,300万円

○原油価格・物価高騰等総合緊急対策 〈79億5400万円〉

- ・施設園芸農家、茶工場、畜産農家、漁業者等に対する燃油や飼料の購入費の助成
- ・安全・安心認証店を対象としたプレミアム付き電子食事券の発行（新規）ほか

○新型コロナウイルス感染症対策 〈17億5100万円〉

- ・自宅療養者に対する支援等の強化

○その他 〈1億4800万円〉

- ・盛り土情報を一元管理するシステムの構築ほか

意見書

- ◎物価高騰から国民生活及び経済を守る対策を求める意見書
- ◎唯一の戦争被爆国として、核兵器のない世界の実現に向けてより一層努力することを求める意見書
- ◎危機管理的視野に立ったエネルギー政策を求める意見書
- ◎犯罪被害者等に対する支援の充実についての意見書
- ◎消費税のインボイス制度導入に伴うシルバー人材センターの安定的な運営に関する意見書
- ◎台湾の世界保健機関（WHO）へのオブザーバー参加を求める意見書

令和の人づくり (池上教育長の所信)

私は3年前の議員立候補時に公約の一つとして「人づくり」を掲げました。自宅が北浜幼稚園に隣接しているため、園児たちの元気な声を日常の中で耳にしています。万葉集の和歌に山上憶良の「銀も 金も玉も 何せむに まされる宝 子にしかめやも」がありますが、親にとって子供は何にもまさる宝であり、国の宝でもあります。憶良の生きた飛鳥～奈良時代も今も変わりません。子供たちのために少しでもよい社会、明るい未来を築くという決意を新たにするとともに、どの子ども困難に打ち勝つたくましい人間に育てほしいと強く願っています。

そうした思いからこれまでの3回の一般質問(個人質問)は「令和の人づくり」をテーマにその時々^{しらかね}の出来事を題材に知事の人材育成に関する考えや県の取組を質してまいりました。今回、所属党派である自民改革会議の代表質問の機会をいただき、任期途中での教育長の交替があったため、急遽4月に就任した池上教育長の所信を質しました。

代表質問の中で触れましたが、池上教育長は札幌市の出身で北海道大学大学院修了後、1996年に33歳で静岡県に移住、2008年からは静岡文化芸術大学大学の教授を務めました。自身を「静岡県の魅力にとりつかれた一人」と称し、移住後は長年にわたり一貫して本県において専門の文化人類学を中心に教育研究に携わり、教育行政はもとより本県の社会・経済全般に精通しています。

所信として、「子供たちの多様な能力や資質、可能性を伸ばすため、本県の教育を変革していきたい」「特に様々な課題を自らのこととして考え、調べて、行動し、解決していく『探究活動』を実践し、激動の時代を生き抜く力、状況を変えていく力を育成していきたい」との答弁がありました。

今、ロシアのウクライナ侵攻や新型コロナウイルス感染症の影響により、世界が大きく変わる時代の転換点を迎えています。「探究活動の実践」と合わせ、池上教育長の目指す「異なる価値観や特性などの多様性を尊重しながら他者と協調して新たな価値を創造する力を育成する教育の推進」に期待し、微力ではありますが私も協力していきたいと思えます。



常任委員会「総務委員会」

今年度の常任委員会は総務委員会に配属になりました。

総務委員会は知事直轄組織、経営管理部、出納局、選挙管理委員会、人事委員会及び監査委員の所管に属する事項を担当します。

県の将来をよくしていくための計画づくりや、県の予算、税金、市町の手助けをする仕事に関することについて調査・審査します。

今年度は
総務委員会の
副委員長を務めさせて
いただきます。

静岡県議会議員

市川秀之

プロフィール

昭和41年11月20日生まれ
家族構成：妻・2男1女
趣味：ゴルフ・カメラ・文化芸術鑑賞
静岡県立浜名高校 卒業
日本大学経済学部 卒業
市川産業(株)入社 現 代表取締役
学校法人北浜学園 北浜幼稚園 理事
平成18年度 (社) 浜北青年会議所 理事長
平成19年度 浜松市伎倍小学校 PTA会長
平成21～24年度 浜松市PTA連絡協議会 副会長
令和元年(2019年)～ 静岡県議会議員
令和元年度 文教警察委員会 委員
令和2年度 文化観光委員会 委員
令和3年度 建設委員会 副委員長
議会運営委員会 委員
令和4年度 総務委員会 副委員長
移住・定住等促進特別委員会 委員



おかげさまで、この県政報告「ひでゆき通信 INSIGHT～慧眼～」も vol.9 となりました。
バックナンバー (vol.1～vol.8) をご希望の方は 市川秀之事務所までご連絡いただければお届けします。

Topics

県立美術館の「考える人」は本物？

今年は日中の国交が正常化されて50周年となります。それを記念して静岡県立美術館では、8月28日(日)まで「兵馬俑と古代中国～秦漢文明の遺産～」の展覧会が開催されています。

人気漫画「キングダム」でも描かれている秦の始皇帝は、紀元前221年に、史上初めて中国大陸に強大な統一国家を打ち立て、春秋戦国時代にわたって約550年も続いた戦乱の世を終結させました。統一後、わずか十数年のうちに秦は滅亡しましたが、始皇帝陵で発見された兵馬俑をはじめとした多くの遺物は、1974年の発見以来、50年近く経った今なお発掘が続いています。その後、劉邦が創始した漢帝国は、中国古代における黄金時代の一つです。漢は、後の中国、アジア、そして世界の歴史に多大な影響を及ぼしました。

今回の展覧会では、今から2000年以上前の秦と漢の王朝の時代に、地下に数多く埋蔵された兵馬俑に焦点を当て、古代中国の遺産の数々を紹介しています。始皇帝陵博物院の「戦服將軍俑」など24点の中国国家一級文物(最高級の貴重文物)や日本初公開を多数含む約200点の遺物・資料を観覧できる貴重な機会でありますので、県立美術館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



一方、静岡県立美術館には、オーギュスト・ロダンの彫刻作品32点を展示するロダン館があります。ロダンといえば「考える人」や「カレーの市民」などの著名な彫刻作品を制作した世界的な芸術家として知られています。フランスを旅行された経験のある方の中には、パリのロダン美術館やオルセー美術館を訪れ、ロダンの作品を鑑賞された方もいらっしゃると思います。ルーブル美術館を含めこれらの美術館は、人々の憧れを集める世界有数のミュージアムです。



それでは、日本の、しかも静岡県立美術館が収蔵し展示している「考える人」や「カレーの市民」は本物なのかと疑問を抱かれる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

実を言うと、私は議員になるまで静岡県立美術館のことをよく知りませんでしたので、ロダンの作品が展示されていることも知りませんでした。議員になって一昨年度、美術館を所管する文化観光委員会に所属して、美術館並びにロダンの作品展示を知りましたが、当初はレプリカ(複製品)だと思っていました。委員会の所管事項を調べたり職員の話を知りながら、これらの作品が全て本物であることを知り驚きました。

説明によると、これらの作品は一つ一つ手で削って制作したものではなく、鑄造用の型枠に熱で溶かしたブロンズ(青銅)を流し込んで作られたもので、同じ型枠から複数の作品が鑄造・制作されているとのこと。ただし、たい焼きや大判焼きと違っていくつもいくつも作れるものではなく、パリのロダン美術館の厳格な管理の元で一つの型枠から最大12体まで制作しているとのこと。なお、「考える人」には約38cmと約68cm、約183cmの3つのサイズがあり、最大のサイズの作品は世界に21体あるそうです。静岡県立美術館には3つのサイズ全てが収蔵・展示されています。

また、屋外に展示されたことがないため保存状態が良く制作当時の姿をそのまま伝えていることが特徴で、県立美術館のロダン館はこれらの作品を正面から観賞できるように館内が階段状のスキップフロアーの構造となっています。

静岡県立美術館は1986年4月に静岡県議会100周年記念事業として開設され、1994年3月に新館としてロダン館が増設されました。美術館は声を出さずに静かに鑑賞するため、マスク着用や手消毒、人との間隔の確保などにより感染対策が比較的しやすい施設だと思えます。今回の企画展「兵馬俑と古代中国～秦漢文明の遺産～」とあわせてロダン館もぜひ鑑賞をお勧めします。暑い夏に涼しい美術館で文化芸術の鑑賞はいかがでしょうか。



静岡県立美術館

- 開館時間 / 10:00～17:30 (展示室への入室は17:00まで)
- 休館日 / 毎週月曜日ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌日休館

ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

[市川秀之事務所]
〒434-0013 静岡県浜松市浜北区永島577
TEL053-443-8700 FAX053-443-8703

[静岡県議会 自民改革会議 控室]
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6
TEL054-221-2566 FAX054-221-3379

<http://www.ichi-hide.com/index.php>

[E-mail] hide-ichikawa@mth.biglobe.ne.jp

